

## 祝:研修医奨励賞 受賞

令和元年9月21日土曜日に開催されました、日本消化器病学会関東支部第356回例会において、初期研修医の助崎 あきら先生が「肺胞出血・溶血性貧血発作を併発し人工肝補助にて脳死肝移植が可能になった急性肝不全型Wilson病の40代成人の一例」というテーマで発表し、見事に研修医奨励賞を受賞しました。

助崎先生は現在初期臨床研修医1年目として当院で各科をローテーション中であり、今回が医師として初めての学会発表とのことでしたが、複雑な病態経過を一生懸命勉強し、また発表の練習を重ね、本番では堂々とした見事な発表をして下さいました。

助崎先生のさらなる活躍を消化器内科一同、期待しております。

文責: 緒 柏松

